

西中だより

No. 12 八女市立西中学校
令和4(2022)年 3月18日

～ 自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること ～

終わりは新たな始まり

3月24日は、後期の終業式であり、令和3年度の修了式です。この機会に令和3年度をふり返って、自分の成長を確認してください。取り組んだことで成功したこともあれば、失敗したこともあるでしょう。大切にしてほしいのは、取り組んだこと自体に大きな価値があるということです。そして、失敗したからこそ、気づき・学び、そして改善を図ることができます。これをチャンスととらえれば、次に生かすことができます。



今年度も感染拡大防止対策を講じながら学校の教育活動を進めることとなり、授業や学校行事等で変更や中止を余儀なくせざるを得ませんでした。しかし、そのような中でも、西中生のみなさんや先生方が工夫を凝らし取り組んだおかげで授業や学校行事などを行うことができ、修了式を迎えることができました。これは、保護者の皆様や地域の方々のご理解とご協力、ご支援のおかげでもあります。学校に関係していただいているすべての皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。

さて、令和3年度は終わりますが、これは令和4年度が始まることを意味します。1年生は、西中学校の中堅学年である2年生に進級します。2年生は、最上級生である3年生となり、西中学校のリーダーとなります。それぞれの学年がステップアップし、自己実現に向けて、さらなる成長をしましょう。

そのためには、**本気**で目標を立て、それを達成にしようとアクションを起こすことです。「なりたい自分」をイメージし、**本気**で立てた目標は、実行(実現)の源となります。自分が**本気**で立てた目標だからこそ、その達成に向けて、**本気**で取り組む、つまり、全力を尽くすこととなります。**本気**であるか否かは、誰よりも自分自身がよくわかります。自分自身こそが、自分と未来を変えることができます。

第58回卒業証書授与式

3月11日に第58回卒業証書授与式を挙行了しました。感染拡大防止対策の観点から縮小した形で行いました。別れはつらいですが、新たなステージでの卒業生72名の活躍を祈念いたします。



「卒業生お別れの言葉」から一部を抜粋して、ご紹介します。

※ウラに「卒業生のみなさんへ～式辞に代えて～」を載せています

卒業生お別れの言葉

*一部を抜粋しています

私たちが過ごした三年間は、今までの先輩方が過ごしたものと、全く違う中学校生活でした。多くの行事ができなくなっただけでなく、マスク生活になり、友達や先生の表情がわからなくなりました。慣れない生活様式に、距離を感じ、最初は寂しく感じました。しかし、友達と過ごす中で、体の距離が変わっただけで、心の距離は変わっていないということに気づいた時、ほっとしたことを覚えています。

体育大会・修学旅行、この二つの行事を通じて、「どんな時も仲間と一緒に何だって楽しめる」「一人一人が協力して全力で頑張れば、できるようになることはたくさんある」、そう感じています。ここで学んだ仲間の大切さ、協力することの大切さをこれからも持ち続けたいです。

在校生のみなさんへ。私たちは、先輩らしく、みなさんのことを支えることができたでしょうか。体育大会で最後に円陣を組んだ時のことを覚えていますか。あの時、みなさんの存在があつてこそ、この団結を築くことができたということ強く感じました。これからも、西中学校の伝統を引き継ぎ、誰もが安心できる過ごしやすい西中学校を創ってください。今までありがとうございました。

私たち七十二名は、それぞれの思いを胸に、これからの人生を、歩み出します。

裏面に続きます。ご覧ください。

ウラへ

西中図書館から

今月に発行された本校の図書館だより<3月号>によりますと、今年度の4月～2月までの貸出冊数は、1年生：2,292冊、2年生：726冊、3年生：1,120冊で、全校で4,138冊となっております。令和2年度よりも増加しています。



本校図書室の蔵書数は、3月7日現在で、今年度の新着本408冊をふくめ9,358冊です。この中に、「読みたい本」がきっとあります。「A book is a dream that you hold in your hand. [本とは、あなたが手に抱える夢である。] (イギリスの作家：ニール・ゲイマン)」。これからも、本との出会いを楽しみ、自分の世界を広げてほしいと願っています。

そして、本校図書室では、おすすめ図書の展示や工夫を凝らした掲示物がなされています。図書室前の掲示板には、毎月、その月の一句が掲示されています。今年度、掲示されていた「今月の一句」をご紹介します。

| | | | | |
|-----|-------|---------|-------|-------|
| 四月 | ふだん着で | ふだんの心 | 桃の花 | 細見綾子 |
| 五月 | 外にも出よ | 触るゝばかりに | 春の月 | 中村汀女 |
| 六月 | さみだれや | 大河を前に | 家二軒 | 与謝蕪村 |
| 七月 | 夏河を | 越すうれしさよ | 手に草履 | 与謝蕪村 |
| 八月 | あさがおの | うらを見せけり | 風の秋 | 森川許六 |
| 九月 | そよりとも | せいで秋たつ | ことかいの | 上島鬼貫 |
| 十月 | 啄木鳥や | 落葉をいそぐ | 牧の木々 | 水原秋櫻子 |
| 十一月 | 冬ちかし | 時雨の雲も | ここよりぞ | 与謝蕪村 |
| 十二月 | 市に入りて | しばし心を | 師走かな | 山口素堂 |
| 一月 | 餅花や | かざしにさせる | 嫁が君 | 松尾芭蕉 |
| 二月 | 山茶花の | 散りしく月夜 | つづきけり | 山口青邨 |
| 三月 | 校塔に | 鳩多き日や | 卒業す | 中村草田男 |



(文責 木村彰男)

卒業生のみなさんへ ～式辞に代えて～

七十二名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業を心からお祝い申し上げます。

真新しい制服に身を包み、西中学校の門をくぐった日から三年。日々、学びや経験を積み重ね、卒業生のみなさんは大きく成長しました。中学校最後の体育大会は、生徒会長が閉会式のあいさつの中で率直に心から述べたことば「(今日の体育大会は)一言で言うと、『めっちゃ、よかった』です」に象徴されるように、学級・ブロック・全校が一つになって競技し、笑顔あふれる体育大会となりました。本当にありがとう。

旅立ちを迎えた卒業生のみなさんに伝えたいことは、次のステージやこれからの人生において、失敗を恐れることなく、様々なことにチャレンジしてほしいということです。チャレンジしようとするものの大・小や難・易に関係なく、「やってみよう」「できるようになりたい」など、自分の心が躍ることにチャレンジしてください。チャレンジすることは、自分の可能性を上げ、自らを成長させ、その後の道を拓くことにつながります。もちろん、チャレンジしたことがすべてうまくいくとは限りません。成功することもあるかもしれませんが、失敗することもあります。大事なことは、成功も失敗も、それは自分がチャレンジした証であるということです。チャレンジしなければ、失敗することはありませんが、成功することも実現することも絶対にありません。チャレンジして失敗したからこそ、気づくことがあり、さらに向上して、次のチャレンジで自己実現の扉を開くことができます。

西中学校での思い出と学びを胸に、自分の力を信じて、新たな人生の一步をしっかりと踏み出してください。それから、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることを忘れずにいてください。みなさんの限りない可能性と、輝く未来を祈念いたします。そして、いつも応援しています。

令和四年三月十一日

八女市立西中学校 校長 木村 彰男